



下田ガス社屋

1960年(昭和35年)に創業した下田ガスは、「地域社会の発展に寄与するため」という企業理念のもと、通常の事業以外でも、下田市のイベントにも積極的に参加し、地域の方々と触れ合う時間を大切にしている。2022年に3年ぶりに開催した下田市民文化会館でのガス展のほか、市内のペリーロードに設置されているガス灯の点灯時間などをX(旧Twitter)で投稿し、情報発信による地域とのコミュニケーションを欠かさない。また、静岡ガスグループの総合力の強みを活かし、お客さまにとって安心・安全で快適な暮らしを過ごせるように様々な取り組みを行っている。

事前の調査と計画がスムーズな取り付けにつながる

これまで検針作業をお願いしていた嘱託の方が退職した後、なかなか求人が集まらず、社員が検針作業をせざるを得ない状況だったため、他の業務に支障がでてきていたという。また、別荘のお客さまも多く、想定外の滞在によるガス切れのリスクがあることや、遠方の西伊豆地区の保安対応などでも一時対応の迅速化が図れることからLPWAの導入を決めた。



下田ガス名倉代表取締役社長(中央)、西田総務グループリーダー(右)、新田技術グループリーダー(左)

通信機器選びでは、当初はコスト面での選択も考えたが、地域的に電波が入りにくいところが多いため、事前テストを行い比較検討しながら、電波が一番繋がったメーカーに決定。また、取り付けする優先順位も、遠方や使用量が不規則な別荘のほか、検針員にもお客さまの立ち会いがないと検針できないところなどをリストアップしてもらい、十分検討を行った。

今回、他の業務と並行しながらの取り付け作業には、苦勞したとのこと。設置場所に土地勘のある作業者が必ず行けるわけではないため、地図を見ながら設置場所まで向かうことで、更に時間がかかってしまった。「1週間でこれだけしか取り付けられないのかとなるようでは後々困るので、取り付ける人員の確保や、事業完了までの期間を考え、余裕を持って計画をすることをお勧めしたいですね」と総務グループリーダーの西田裕紀さんは話す。

社員へのリスク回避は何より大きい

LPWAの導入により検針の手間が減ったことや、閉栓業務も遠隔で止めることが可能になったことで、時間が有効に使えるようになった。また、検針業務は夏の酷暑や台風の日でも決められた日に行かなくてはならないため、「社員の体調や安全面でもリスクが減ってきたことは大きい」と代表取締役社長の名倉哲士さんは語る。異常気象が多くなっている昨今、LPWAの導入は大きなメリットがあった。

検針業務が減った半面、検針票の代わりに使用量の通知などを郵送で送っているため、半分自動で半分人の手が掛かっているのが現状。郵送コストもかかることから、最終的にはWEB化したいと考えている。

年 月 日
お客さま各位
ガスメーターへの「無線通信端末」取付けのお知らせ
日頃より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、下田ガスでは保安体制のさらなる向上のため、集中監視システムを導入することにいたしました。
つきましては、事前準備をいたしまして、本日ガスメーターに無線通信端末の取付けをさせていただきますのでお知らせいたします。
今後とも下田ガスをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
<ul style="list-style-type: none">・無線通信端末の取付けに際し、お客さまの費用負担はございません。・無線通信端末は内蔵する電池で駆動するため、お客さま先の電力は使用いたしません。
下田ガス株式会社 TEL 0558-22-1321 受付時間：平日 8：30～17：00 (土・日・祝日は除く)

取り付け時に配布したご案内

今後の展望

「LPWAを取り付けることで、検針業務が削減されるだけで終了ではなく、営業活動の充実など他にもメリットを見つけていかないといけない。今後はシステムと連携させて、下田ガスからのキャンペーン情報や安全周知の情報なども受け取ってもらえるまでにしていきたい」と名倉さん。

将来的には「下田ガスのWEB会員」までもっていきたいと考えている。さらに2024年までにシルバー認定、2026年にはゴールド認定を目標に今後も積極的に取り組んでいく。

LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ 会社名	シモダガス株式会社		会社所在地	静岡県下田市中467		
	下田ガス株式会社		事業責任者名	西田裕紀	役職名	総務グループリーダー
連絡先	部署名	総務グループ	電話番号	0558 - 22 - 1321	従業員数	18名
	担当者名	西田 裕紀	ホームページ	https://www.shimodagas.co.jp		
会社設立	西暦	1960年	1月	28日	顧客件数	3,269件 内家庭用 2,938件 業務用 331件
事業内容	1. 都市ガス事業 2. LPガス事業 3. ガス機器等の販売・ガス配管工事 4. 電力販売					
会社の強み	1. 地域密着 2. サービス対応の早さ 3. 24時間365日保安対応 4.					

LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安						
	<具体的活用方法> 自動（遠隔）検針、残量管理、閉栓業務						
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> ・検針員の確保が困難になってきている。 ・別荘などの不規則なお客さまのガス切れ ・遠方地区の保安対応						
	<導入によって期待する効果> ・自動検針（遠隔検針）による人員不足解消と人員の有効活用 ・残量確認によるガス切れの防止 ・遠隔監視による保安の高度化、将来的なシルバー認定（ゴールド認定）の取得による効率化やお客さまへの遡及						
導入費用	総金額	3,650,000 円		内補助金対象金額	3,650,000 円	補助金額	1,825,000 円
導入期間	補助金申請日	西暦	2022年	6月	10日	所要期間	6ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2022年	12月	10日	合計	名 内社内 名 内社外 名

LPWA通信システム導入までのスケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討												
	●機器メーカー選定												
	●設置先の選定												
	●補助金申請書作成												
	●事前調査												
	●事前周知												
	●設置工事												
	●試験運用												
	●本格運用												
	●メーカー講習会												
●その他 ()													

通信機器メーカー選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 山間部などで電波検証を行い最も広いエリアをカバーした。 1NCUで2メーター接続が可能であった。 メーカー担当者のサポート体制が充実していた。
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<p><発生した問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 他業務と並行しながらの設置作業であったため端末の設置人員の確保に苦労した。 <p><上記問題点を改善した方法></p> <p>他部署から応援人員を確保した。</p>
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	<ul style="list-style-type: none"> 遠方の検針業務が削減でき効率化につながっている。 リアルタイムで検針値の取得による配送効率化やガス切れリスクの低減
導入によって削減できた費用	<ul style="list-style-type: none"> 検針、配送業務に係るコスト（人件費、燃料費）の削減
反省点	<ul style="list-style-type: none"> システムへの連携・展開が今後の課題。

今後の拡張方針	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <input type="checkbox"/> その他 ()
---------	--

自己評価	作業項目	評価（数字を入力）		評価5または4の具体的な理由
		数字	評価	
5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	●申請作業	3	普通	
	●仕様確定	3	普通	
	●メーカー選定	2	あまり大変ではなかった	
	●事前周知	3	普通	
	●設置工事	4	やや大変だった	人員の確保
	●試運転	3	普通	
	●その他 ()			
申請から導入後（現在）までにあった、反響・意見・要望等	社内から	<ul style="list-style-type: none"> 使用量が不規則なお客さまの残量管理がしやすくなった。 遠隔閉栓により時間の有効活用が可能になった。 		
	業界・取引先などの社外から	特になし		
	お客さまから	<ul style="list-style-type: none"> 検針時に開錠や立ち合いが必要であったお客さまの手間が減った。 敷地内への立ち入りが少なくなりプライバシーが守られる 		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス（こうしておけば良かった、注意すべき点等）	<ul style="list-style-type: none"> 端末の取付に確保できる人員と事業完了までの期間を考慮し無理のない申請台数を決定してください。 			